自分たちの思いを伝える

志の教育推進事業

令和元年度の発表紹介と令和二年度の開催

市立学校の生徒が自らの目標に向かって挑戦し続けようとする高い志と、社会に貢献しようとする意欲と実践力を育むとともに、郷土府中をより深く知り、自分が郷土の未来やまちづくりにどのような貢献ができるかを考えるのが、志の教育推進事業です。これまでは、生徒一人一人が府中市に対する質問や提言を市役所の議場で、議会と同じ方法で行っていましたが、令和元年度からは生徒たちのより柔軟で自由な発想を引き出すために、各学校ごとに提案を作成し、発表する形としました。

令和２年度は、19人の市立学校の生徒たちが参加し、現在、提案づくりに奮闘しています。昨年度までと違い、新型コロナウイルス感染症防止対策を行い、オンライン形式を取り入れた新しい手法に挑戦しています。

この事業を通じて、生徒たちは自分たちの暮らす府中市について向き合い、府中市の未来を、自分たちで作り出していこうと考えています。今後もその志を持って、府中市民として考え続け、行動していってくれることを期待します。

申し込み・問い合わせ先
教育政策課
（☎43-7181）

令和元年度志の教育各校発表内容

昨年度の第１回では、府中青年会議所の理事長平慶一郎さんに、府中市の現状、なぜ府中市を盛り上げようとしているのか、自分が府中市に対して何ができるのかを講演していただきました。平さんの府中市に対する熱い思い、志を聞いた生徒たちは、提案を作成する上でのヒントをいただきました。午後は、会議の場を進行するファシリテーションの手法を学びました。会議の中で、全員の意見を平等に取り入れ、全員が納得した結果を出すためにはどのようにすれば良いか、実際に提案テーマを決定するという内容で生徒たち自らが会議の場を体験し、講師の指導によって、提案テーマを決定しました。

さらに、第２回は、市民の皆さんからの提案に対し、意見をいただきました。ワークショップでは、市民の皆さんからの意見や質問に、言葉に詰まる場面もありましたが、自分の言葉で説明しようとする生徒の前向きな姿がありました。また、自分たちとは違う大人の目線で考えられた実現性や実効性についての意見を取り入れることで、提案内容が確立していく様子でした。生徒たちが真剣に考え、市民の皆さんの前で発表した提案は、各校ごとに全く違ったオリジナリティの溢れるものとなり、それぞれに参加者の志が感じられました。

第３回は、20人の生徒たちが、府中市をより良くするための提案を、約100人の市民の皆さんの前で発表しました。

令和２年度志の教育推進事業の発表を視聴できます

各学校のプレゼンテーションはオンライン形式で行います。オンラインでの視聴が難しい場合は、教育センターでも視聴できます。

とき　２月20日（土）10時30分～12時
受け付け開始日　２月１日（月）～

申し込み方法
◎オンラインでの視聴
市のホームページ内の応募フォームから申し込んでください。
◎教育センターでの視聴
電話で申し込んでください。
定員　先着30人

申し込み先
教育政策課

府中明郷学園　トリプルＵＰ大作戦～－（マイナス）を＋（プラス）へ～

目的　府中市の魅力を伝え、府中市の活気をアップさせる。
方法　動画配信・SNSを活用した情報発信
▷月１回のYouTube配信、イベント前後にSNSでの情報発信
▷魅力発信アプリ「マチアルキ」、QRコードの活用
考えた実現後の結果　▷市内の人には府中市の魅力を知ってもらうことができ、府中市に誇りを思ってもらう。　▷市外の人に府中市のことに興味を持ってもらう。　▷府中市にとどまってくれる人、府中市を訪れようと思ってくれる人の増加。

上下中学校　人々の交流の場をつくり、にぎわいのある府中をつくろう！

目的　①空き家・空き店舗を活用し、人々の交流の場を作る。
②府中ならではの魅力を多くの人に伝え、市外からの観光客を増やす。
方法　▷誰でも気軽に利用できるレンタルスペースを作る。
▷キッズスペース、写真コンテスト、パブリックビューイングなどを開催。
考えた実現後の結果　▷府中市の認知度ＵＰ　▷ＳＮＳ、口コミの発信力で観光客ＵＰ、それにより市の経済が活性化する。

府中学園　スポーツ大会を開催する

目的　運動の機会を増やすことで市民に元気で健康に過ごしてもらう。
方法　市独自のスポーツの日を設定し、市民参加のスポーツ大会を開催する。　▷運営や準備、広報は自分たちで行う。　▷地域オリジナルの内容を入れる。
考えた実現後の結果　▷運動をする機会が増える。　▷毎年の恒例行事となり魅力の一つになる。　▷市民や地域同士の関わりが増える。

第一中学校　空飛ぶ魅力　広がる府中

目的　①観光客を増やす。②府中市の伝えきれていない魅力をより遠くに!!
方法　企業や観光地のPRや市民メッセージをつけた風船を飛ばす。
▷風船を飛ばすイベントを開催し、メッセージを作成する際に、集まった地域の人々で交流をする。
考えた実現後の結果　▷府中市の魅力について、遠方の人にも知ってもらえる。　▷メッセージを作成する際に、自分たち自身が府中市について知り、魅力に気付くことができる。　▷風船を飛ばすイベントを通じて、地域の方々と交流ができる。